

浄土とは何か？



新井俊一



私の理解では、阿弥陀仏と浄土とは切り離せないものです。それぞれの仏さまは自分の活動範囲としての浄土を従えておられますが、阿弥陀仏の浄土は極楽浄土とか安養浄土とか呼ばれています。短くいうと、浄土は阿弥陀仏の智慧と慈悲の働く範囲をいいます。

という、たちまち反論が起こるでしょう。阿弥陀仏の浄土は有限なのでしょうか。阿弥陀仏は無量寿仏とか無量光仏とか呼ばれています。阿弥陀仏の智慧と慈悲の光は無量光、無辺光、無碍光、無対光、光炎王、清浄光、歓喜光、智慧光、不断光、不可思議光、不可称光、超日月光という名前がついています。これは阿弥陀仏の光の様々な特質を言っているのです。すなわち阿弥陀仏の智慧の光は宇宙の隅々までおよんでいて、至らないところは全くない、ということです。それではどうして、阿弥陀仏に帰依していない人、阿弥陀仏の救いに疑いを持っている人がいるのでしょうか。

これは歴史上長くなされていた議論の一つです。今私の言えることは、浄土は阿弥陀仏に信心を持っている人の心の中に住む、ということです。阿弥陀仏の働きとしての浄土は、すべての衆生に開かれており、すべての衆生の心に到達しようとしている、という点で無限であり、普遍的なのです。親鸞聖人の師である法然聖人は次のような歌を詠まれました。

「月かげの 至らぬ里は なけれども ながむる人の
心にぞすむ」

「月の光（阿弥陀仏の智慧の光）は世の中の隅々に至っているのだけれども、実際には、阿弥陀仏の光に目ざまてそれを仰ぐ人の心の中に住んでいる」という意味でしょう。この和歌は浄土と信心の人の関係をよく表しています。

12月の予定

- 5日 10時 成道会法要
赤星けんじ先生
日本語プログラム
ポットラックランチ
- 12日 10時 家族法要
11時 別院総会
日本語法要なし
- 19日 10時 家族法要
10時半別院大掃除
日本語法要なし
- 26日 10時 家族法要
ゲームスクールなし
日本語プログラム
- 31日 7時 除夜法要

『大無量寿経』と『阿弥陀経』には、浄土はここから十万億仏土のかなたにある、と書いてあります。ところが『観無量寿経』には「阿弥陀仏、ここを去ること遠からず」とあります。この矛盾はどういうことでしょうか。今言えることは、私たちが自分の力で修行して阿弥陀仏の浄土に至ろうとすると、そんなに長い距離を旅しなければならないが、阿弥陀仏の本願を信じて念仏すれば、浄土の方が私たちの上にやってきて、私たちに懐きとめる、ということでしょう。妙好人才市が次のように言っています。

さいちや、どこにねてをるか。
しやばの上をど（浄土）に、ねてをるよ。
をこされてまいる、みだの上をどに。

もう一人の妙好人庄松は「どこにいても、寝ているところが、極楽の次の間じゃ」と言っています。またむつれ島のおかるは「十万億土は遠けれど 南無阿弥陀仏の一声で一声で」と詠んでいます。

この世が浄土だと言っているわけではありません。しかし阿弥陀仏を信じて念仏した時、私たちは瞬間的にも浄土の住人になっているのです。

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。
先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

22 感動

沼田智秀著「ささえあって」百八つのおもい より
数年前、若者の在り方が、無気力、無責任という言葉と共に、無感動と言われました。シラケルという言葉と同じような意味で、何を見ても、何を聞いても、何が面白いのかというような態度で、表情に何の変化もない有様が無感動です。
感動とは、深く感じて心を動かすことです。無感動とは、何を見ても、聞いても、深く感じることもなければ、心を動かすこともない状態です。なんと無味乾燥な人生でしょうか。
この世は無常です。常に移り変わり、常に新しい日々を生活しているのです。一つひとつの出来事を深く心に銘じ、心揺さぶられて生きるとき、毎日は感動の日々になります。

本願寺八代目蓮如上人は、

「ひとたび仏法をたしなみそうろう人は、おおよくなれどもおどろきやすきなり」

（「蓮如上人御一代記聞書」）

と、仏法に遇った人は普段はおおらかでも、なにかにつけ感動しやすいといわれています。

会長の挨拶

御門徒の皆様、2010年は別院におきまして色々な諸事のあった年でした。一番思い残ることは親鸞聖人750回大遠忌法要の儀式を執り行った事、キャンプファイヤーの100周年記念、松林輪番のリタイアメント、大成功の盆踊り、ダーマスクールの日本旅行、小杭総長勧告カストロ先生の輪番昇進、日本語法要のプログラム及び、オリオンセンターへの援助。今年の躍進をみて、そこから5, 10, 25, 50年先へ目を向け、次の世代の為にも別院の将来を計画することが必要です。私の伝えたいことはそれにはリーダーシップと洞察力が要ります。

100年前リーダーには願望がありました。将来に仏法を伝え続けるためにすべてのレベルにおいてのリーダーを育てなければなりません。お寺の会員の数を増やすというチャレンジにはリーダーシップとビジョンが要ります。

合掌
森ポール

日本語プログラム

浄土真宗センター英語通信教育主任、国際伝道者要請プログラム主任の桑原浄信先生が報恩講法要に来てくださいます。前日の1月15日(土)1時半—3時まで先生との日本語法話会を開きます。皆さんお揃いで参加して下さい。詳しくはグローブスふみまで。

新年会

シアトル別院新年会は1月9日に決定。
チケットは11月28日より
売り出されます。数に限り
がありますので早い目にお求
め下さい。



もちセール

DS, Jr.YBA, CF と祭り太鼓の協賛で今年もおもちが作られます。お餅とちち餅とお重ねがあります。お重ねは別院ホールの壁にあるサインアップに申し込んでください。チケットは11月より売り出されます。チケットの数に限りあり、ぜひ早いうちにお求め下さい。

リサイクル

5ガロンの残飯入れがキッチンに置かれています。グループでも使ってください。コンポースの出来るカップが売られています。使った後コンポースに入れて下さい。新年会での弁当箱は各自持ち帰りになって下さい。また家からマグを持ってきて下されば助かります。

別院のウェブにリサイクルの記事がでています。 www.seattlebetsuin.com/recycle.htm

メディテーション セッション

毎日曜日朝8時45分—9時半までと水曜日朝10時より前輪番ハウスにてメディテーションがおこなわれております。ぜひご参加下さい。



会員部より

今月も英語部に会費お支払いの方のお名前があります。この方々は2010年の維持会費をお支払いになった方々です。70才以上は\$250(\$500ご夫妻)、70才以下は\$300(\$600ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。別院年会費は9月末が締め切りになり10月からは2011年度の会費となります。

1月の予定

- 1日 元旦法要 修正会 10時
- 9日 別院新年会
- 16日 報恩講法要 10時
桑原浄信先生

浄土真宗センター英語通信教育主任、国際伝道者要請プログラム主任



婦人会便り

会長のメッセージ

八幡静江



- 2010年11月4日（木）に10月、11月、12月当番会員が別院の台所とパントリーを整頓・清掃して下さいました。下記の方々に御礼申し上げます。池上デアナ、出口メイ、清水和美、田中リク子、中西清子、堂道原ケン・芳枝、麻植サンキエ、青木ルース、島田シャアリー、斉藤アイリーン、新保ベン・悦、ペアソン エモリー。
- 2010年度末の寄附は次の諸団体にあげる事に決定しました：日系コンサーンズ、日系ヘリテージとカルチュラルセンター、ACRS フードバンク、法輪、そしてフレッドハッチンソン。
- 2010年11月21日（日）に別院婦人会総会があり、引き続いて別院階下にて婦人会理事並びに名誉理事の為の慰労会が持たれました。
- 2010年11月23日（火）シャトル別院仏教婦人会はシャトル敬老での月例のお参りの前に各入居者にクリネックスを配布いたしました。

婦人会活動

清水チヨオ氏、SHIBA help line volunteer, に依る2011年に於けるメデ ケイア保険と医薬の変更に関するのクラスがありました。

12月にはクラフトクラスの予定はありません。

2011年は兎年なので、田中リク子が1月12日に兎の和紙くるみ絵（色紙）のクラス、そして1月26日には兎の縫いぐるみのクラスを指導。

12月行事予定 14日（火）婦人会幹部会一午後7時別院階下にて

通信書記（日） 新保悦提出

宗教部より

西北部仏教徒大会が2月にありますがその時に他の方を車に乗せられる方を探しています。事務所までお知らせください。

お手持ちの仏教本をブックストアに寄付してください。ボックスが玄関にあります。

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com

シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

